

令和3年度(2021年度)熊本県立大学CPDプログラム

看護職のためのオンラインセミナー「小論文編」

看護管理者のためのオンラインセミナー「研究論文編」

受講案内

目的

本学は、平成26年度より認定看護管理者教育課程サードレベルを開講しており、様々な形で臨床現場の看護職に対して継続的専門職能開発(CPD)による学びの場の提供を行ってまいりました。令和2年度には小論文の執筆がスムーズになることを目指し「看護管理者のための小論文の書き方セミナー」を開催。終了後のアンケートにおいて、本講座に関するニーズや再開に関する要望をお寄せいただいたことから、今回は、「小論文」と「研究論文」という目的別の文章の書き方を中心としたセミナーを開講することとしました。

「小論文編」では、認定看護管理者を目指す看護職の方を主な対象に、文章の書き方を振り返る機会とし、論述する力の向上を目指します。

「研究論文編」では、看護管理者の立場にある方を対象に、研究論文の書き方を学びなおすことで、臨床現場の看護職の方たちへの研究支援の方法を理解すると同時に、看護管理者が研究結果に基づく、現場に必要なアドミニストレーション(管理、運営、経営、統治)の知識を拓く機会とすることを目的とします。

1 受講方法

① 会場参加

マスク着用、消毒、換気、検温等、感染予防対策を徹底したうえで、以下のいずれかの要件を満たした方を対象に、収録会場に直接参加いただくことができます。

イ. 新型コロナウイルスワクチン接種2回を完了

⇒ワクチン接種証明書または2回の接種終了が分かる接種券や記録書、接種済証等を提示ください。

ロ. 入場前72時間以内のPCR検査結果が陰性

⇒ワクチン接種2回を完了できない方につきましては、PCR検査を受けていただき、入場前72時間以内のPCR検査結果が陰性の証明書等を提示ください。

ハ. 入場時の抗原検査キットでの陰性判定

⇒入場前に抗原検査を受けていただき、陰性判定が出た方のみ参加可能とします。なお、抗原検査キットは本学で準備しますので、希望される方は受講申込時にお知らせください。

② LIVE 配信

Microsoft Teams を利用した LIVE 配信で受講いただけます。講義終了後の質疑応答にオンラインで参加いただけます。

③ オンデマンド配信

Microsoft Teams を利用して、視聴期間中であれば何時でも何度でも視聴できるオンデマンド配信で受講いただけます。

会場参加・LIVE 配信視聴を希望された方もオンデマンド視聴できます。

2 日程

【会場参加&LIVE 配信】

(小論文編) 令和3年12月17日(金) 19:00~20:30

(研究論文編) 令和4年1月21日(金) 19:00~20:30

【オンデマンド配信】

(小論文編・研究論文編共通)

令和4年3月1日(火) ~ 5月8日(日)

3 受講料

(小論文編) ¥1,000-

(研究論文編) ¥1,000-

モニター価格で募集いたしますので、
受講後アンケートに必ずご回答ください。

4 定員 (小論文編、研究論文編共通)

会場参加&LIVE 配信 10名

オンデマンド配信 40名

【受講要件】

- ① 受講規約に同意すること。
 - ② 医療機関等に所属する看護職（主任以上の職にある方）であること。
 - ③ 受講後アンケートに回答いただけること。
 - ④ 個人のメールアドレスを有し、メールの送受信を日本語でできること。
 - ⑤ パソコン、タブレットを用いて、Youtube 等で配信される動画を1時間30分程度、支障なく継続視聴できること。
- * 機器の貸与はありません。

5 受講準備

- ① 会場参加の方は、申込時に選択された要件に該当する書類を必ず持参ください。
- ② LIVE 受講の方はできるだけカメラ機能付きでご参加ください。(質疑応答の際などに使用します。) 但し、オンデマンド講義用の動画に映り込む可能性がありますので、ご了承ください。
- ③ 受講料は、会場参加・LIVE 講義の欠席、オンデマンド視聴ができなかった場合でも返金できません。

6 受講申込み

熊本県立大学 HP に掲載の申込 Form からお申込ください。

後日、受講決定通知と受講料の振込案内を同封いたしますので、指定期間内にお振込みください。

期間内のお振込みがない場合、受講決定を取り消す場合がありますのでお気を付けてください。

7 申込締切

(小論文編) 会場参加&LIVE 配信 令和3年11月30日(火)

(研究論文編) 会場参加&LIVE 配信 令和4年1月3日(火)

(小論文編、研究論文編共通) オンデマンド配信 令和4年1月31日(月)

8 問い合わせ先・連絡先

熊本県立大学 地域連携政策センター (グローバル棟 1階)

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1-100

TEL : 096-321-6612 FAX : 096-387-2987

E-mail : kendai-cpd@pu-kumamoto.ac.jp



【講師紹介】

中尾 富士子 (なかお ふじこ)

熊本県立大学 総合管理学部 教授

専門分野：看護管理学・がん看護学

～略歴～

2001年熊本県立大学文学部卒業。その後、看護系大学院へ進学し2018年神戸市看護大学大学院看護学研究科 博士後期課程修了(看護学博士)。職歴は、山口大学大学院(医学系研究科)、九州大学大学院(医学系学府)、熊本大学大学院(生命科学研究部)を経て、2019年4月より熊本県立大学に着任。2020年4月より現職となり現在に至る。

主な研究テーマは、看護管理学領域では「看護職の健康と労働環境」であり、現在はコロナ禍における看護師の健康に関する研究に従事している。がん看護学領域では「がん治療に伴う合併症などの症状緩和技術の開発」である。

～受講にあたって～

臨床現場では、日々の看護記録、転院時の添え状などの書類、管理者であれば何らかの申請書など、文章を書く機会が多いでしょう。但し、これらは定型の書式や様式に沿って書く、もしくは入力することを求められ「書かされる(入力させられる)」ため、文章を書くという認識で取り組む方は少ないかもしれません。または「経験」や「前例踏襲」など「ルーティン化」した記録で済ませている場合、「自部署や同じ領域では通じる」ため、知らず知らずに「安心」しているかもしれません。いずれにせよ、文章を書く機会が多く、慣れているであろう看護職が、なぜ「苦手意識」を持ち「自信がない」と感じるのでしょうか？

その他、「一生懸命書いたのに、なぜかわかってくれない」と悔しい思いをしたり、「忙しいので論文の細かい体裁まで気にする時間がない」または『「これくらい書けばよいだろう、わかるだろう』と、読み手の理解にゆだねる」などの経験はありませんか？

本講座では、まず、文章を書く際の「自分のくせや傾向」を知っていただくために、第一弾「小論文編」で基本的な文章の書き方や注意点などをご紹介します。第二弾「研究論文編」では論文の目的別書き方の例として、研究論文の構成を基に基本的な研究論文の書き方・読み方のポイントをご紹介します。これらは基本的な内容ですが、臨床現場の方々の悩みや相談などを基に、復習としての振り返り、または「明日からの論文執筆」に活用しやすい内容となるよう努めます。

本講座を通じて、皆様の論文および論文の書き方について「学び直し、学び直し」の機会としていただけたら幸いです。重ねまして、当日お会いできること、またはオンデマンド視聴などを通して交流ができることを楽しみにしております。

よろしくお願い申し上げます。